

# 序

本特集号は、昨年度末をもって本学経済学部を定年により退任された橋本卓爾先生に、深い感謝と惜別の情を込めて編まれたものである。

橋本先生は、1996年に本学経済学部教授として赴任され、その深い学識と温かいお人柄のゆえ、本学の内外において多大な貢献をなされてきた。

教育面においては、学部の講義として「農業政策」等を、大学院の講義として「地域政策特殊問題」等を担当されてきた。社会人を主たる対象とした「地域マネジメントプログラム」の創設にも尽力された。先生のお人柄のゆえにいずれの講義も学生の人気が高く、留学生等の面倒見のよいことでも有名であった。

研究面においては、都市と農村の共存、都市・中山間地域における農業の保全と活性化に関する研究に継続的に取り組まれてきた。これらの研究のご成果は高く評価されている。

学内行政面においては、学部において学生委員長等、全学において附属図書館長、評議員等を歴任され、学部内にとどまらず大学全体の運営に中心的役割を果たされた。

地域貢献面においては、和歌山県・和歌山市を中心として各種審議会・委員会等で指導的役割を果たされ、地域社会において獅子奮迅のご活躍をされた。また、教育面とも関係するが、岸和田サテライト部の創設にかかるご尽力も特筆しておかなければならないであろう。

橋本先生の对本学に対するこれまでの多大なご貢献に対し心から敬意と感謝の意を表するとともに、今後のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

2009年5月

和歌山大学経済学会長

森 口 佳 樹